

	<p>学校だより 6月号 令和5年5月31日 墨田区立第三寺島小学校 校長 関口 亮治 児童数324名 墨田区東向島6-8-1 電話番号 03-3614-0201</p>	<p>教育目標 ☆心身ともに健康で自主協同の精神に 満ちた児童を育成する ○じょうぶな体をつくる子 ○進んで学ぶ子 ○お互いを大切にする子 ○人のために働ける子</p>
---	---	--



体力向上について

副校長 高橋 伸一

校庭や体育館では、連日、体力テストに挑戦する子供たちの姿があります。どの子も全力を出し切ろうと、一生懸命に取り組んでいます。

コロナ禍での活動制限もあり、保護者アンケートの結果や、体力テスト結果を見ると、昨年度、体力向上については課題が残りました。今年度は体育部が中心となり、昨年度までの調査結果を分析し、本校の児童の実態と傾向を把握しながら、児童の体力向上に向けて取り組んでいます。

体力テストでは、握力（筋力）、上体起こし（筋持久力）、長座体前屈（柔軟性）、反復横とび（敏捷性）、シャトルラン（全身持久力）、50m走（スピード）、立ち幅跳び（跳躍力）、ソフトボール投げ（巧緻性）の8種目の運動に取り組みます。都・区の目標値を参考にして各学年の目標値を定め、各学年で課題のある種目を意識した運動に取り組みました、結果は個人票として後日、ご家庭にお渡しします。

保護者の方が子供の頃と比べると、全体的な傾向として、今の子供たちは体が大きくなっている一方、体力は低下しているようです。食生活やSNSの普及を含めた生活習慣の変化により、体を動かす機会が全体的に減ってきていることが要因であると言われてしています。

私には小学生の子どもがいますが、私が小学生の頃と比べると、我が子が放課後に体を動かして遊ぶ機会が確かに少ないように感じます。都内では不審者など治安上の問題もあり、安心して子供たちが遊べる場所が少ないことも、子供たちの運動の機会が減ってきている一因ではないでしょうか。学校では、体育の授業の充実は勿論のこと、休み時間の外遊びの推奨、共遊び（教員と児童と一緒に外で過ごす）の取組を行い、児童が体を動かす場の確保、楽しく運動に取り組むことができる工夫を行っています。また、地域の皆様が運営してくださっている「さんサンひろば」（放課後居場所づくり事業）でも児童の安全な遊び場を提供してくださっています。

これから梅雨に入るため、熱中症にも十分に気を付け、対策を講じながら児童の体力向上に努めたいと思います。6月からは水泳指導も始まります。水の中での感覚は普段の生活では味わうことのできないものであり、水泳指導は児童にとって魅力的な活動です。安全な水泳指導のために全教職員で実技研修を行いました。児童の安全な水泳指導のため、水泳カードの提出や用具の準備など、保護者の皆様にはご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

